

学校教育目標	「高め合う仲間たち」 (知)自ら考え、学び合うことを楽しむ子どもを育てます。 (徳)自分のよさに気づくとともに、他者を思いやることのできる子どもを育てます。 (体)健康や安全の大切さに気づき、すこやかな心と体をつくる子どもを育てます。 (公)まちのよさに気づき、できることに進んで取り組もうとする子どもを育てます。 (開)様々な人とのコミュニケーションを通して、共に生きようとする子どもを育てます。			
	創立 19 周年	学校長 安東 光	副校長 田島 良子	2 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 4
学校概要	児童生徒数: 319 人 主な関係校: 緑が丘中学校、山下小学校、谷本小学校、藤が丘小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	緑が丘中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <言語能力> <心身ともにたくましく生きる力>	緑が丘中学校 山下小学校 山下みどり台 小学校 谷本小学校 藤が丘小学校	○基本的な生活習慣を身につけ、進んで学習に取り組む子ども ○人とかかわりを通して、自己を認め、他を大切にできる子ども ○年3回以上の小中一貫教育の共同研究を行っています。 ○相互の授業参観、研究討議、児童生徒、教師間の交流を推進します。 ○緑中ブロック小中一貫カリキュラムの運用・改善を行います。

中期取組目標	「高め合う仲間たち」 ○笑顔あふれる活気に満ちた学校づくりをする。 ○子どもたちや職員一人ひとりが自分らしさを発揮し、安心して生き生きと活躍することができる学校づくりをする。 ○学び合い、高め合い、協力し合い、助け合い、共に成長できる学校づくりをする。 ○子どもたちにとってわかりやすく楽しい授業をめざして教職員が研修、自己研鑽に努める学校づくりをする。 ○子どもたち、保護者、地域の方達から信頼される学校づくりをする。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 確かな学力	児童にとって分かりやすく楽しい授業を行い、基礎的・基本的な知識や技能、語彙力、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力を育成する取組をいっそう進め、粘り強く学習に取り組む姿勢や、新たな発見を大切にしようとする子どもたちを育てる。
担当 運営委員会 評価部会	
徳 豊かな心	豊かな体験活動を通して児童の豊かな心と規範意識や礼儀を大切にできる態度を育て、自他の存在を認め、自然や社会、みんなのことを大切にすることのできる子どもたちを育てる。思いやりと感謝の心を大切にして「ありがとう」「ありがとうございます」の言葉がたくさん交わされる学校風土をつくる。
担当 人権・児童指導	
体 健やかな体	児童の健やかな体を育むために、自らの健康に関心を持ち、望ましい生活習慣を身につけ、進んで運動をして自らの体力向上に努め、互いに高め合い、健康な体づくりをする子どもたちを育てる。
担当 保健・体育学校行事	
公開 自分づくり教育 (キャリア教育)	児童が自分の得意なことや興味のあることから世の中にある様々な仕事に目を向け、あらゆる仕事为社会のため、人々の幸せのために役立っているという適切な職業観をもち、将来に向けて夢や希望をもって学びに向かえる子どもたちを育てる。
担当 運営委員会	
いじめへの対応	児童一人ひとりを丁寧に見取り、いじめを未然に防いだり、早期に発見し、早期解決に向けて被害児童に寄り添った丁寧な対応を組織的に行ったりする。また、被害、加害児童の保護者にも事実関係や学校としての対応を丁寧に伝え、誰もが安心して過ごすことのできる学校づくりをする。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)	教職員のそれぞれの良さが発揮され互いに高め合う職員集団となるために、教職員が講師となる「校内職員研修(OUP)」を行い、授業力、児童や保護者への対応力の向上を組織的に行う。限られた時間の中で最大限の成果を出す働き方をするための教職員の意識改革に継続して取り組んでいく。
担当 運営委員会・OUP研修	
特別支援教育	特別支援教育コーディネーターを柱とした組織を構築し、学校全体としての特別支援教育の体制を取り、充実を図る。また、特別な支援が必要な児童や、困り感をもっている児童の対応に、特別支援教室(学習ルーム)等の組織的な取り組みを進める。
担当 特別支援教育委員会	
地域連携	学校ボランティア組織(エプロン先生、読み聞かせ、学校応援隊、学校菜園ボランティア等)の方たちと、教職員が連携を密にして地域の教育資源や人材を有効活用し、児童の安全や豊かな学びの充実を図る。
担当 菜園担当 児童会	
地域学校協働活動	学校運営協議会を年3回開催し、地域の方達や学識経験者の声を取り入れ、学校運営改善に生かし、地域の理解と協力のもと学校運営を進める。年度末には、学校評価のアンケート結果や考察からより良い学校づくりのために次年度の学校経営方針や具体的な取り組みを学校組織全体で検討し、改善につなげていく。
担当 校長・副校長 教務	